

復興支援・ 福祉車両寄贈式

ジャパンゴルフツアーレンジ

ジャパンゴルフツアーレンジ

里優作会長（左）では、2014年度から震災復興支援として、選手たちが獲得した賞金の中から1%（およそ3,000万円）のチャリティ金を原資にして車両を寄贈しています。

6月7日、福祉関係者など70人が出席し、復興支援・福祉車両寄贈式

アーレンジの宮里会長は「車両寄贈は選手会から案が出て始まった。選手一人ひとりの思いが詰まっている。復興のため車両をぜひ活用して

欲しい。若い選手もこの活動を受け継ぎ、末永く続けていきたい」と挨拶し、岩手県社会福祉協議会の長山

洋会長は「着実に復興が進む中、新



盛岡市社協川村会長（右）



上：北上市社協菊池会長（左）
下：住田町社協佐々木会長（左）

たな環境への不安を抱え再建方法が決まらない方もいらっしゃる。今回頂戴した車両は、今なお、ご苦労されている被災者の方々の支援活動など、それぞれの地域で有効に活用したい」と謝辞を述べました。

その後、宮里会長から、県内10市町社会福祉協議会に目録が贈呈され、出席者と記念撮影をした宮里会長が、車両内にサインを書き込むサプライズプレゼントもありました。

寄贈された車両は、各社会福祉協議会で、地域の見守り活動や、仮設住宅・災害公営住宅の巡回などに活用されます。

2017年度も岩手県社会福祉協議会のほか、宮城・福島両県の社会福祉協議会にもそれぞれ車両が寄贈されました。ジャパンゴルフツアーレンジの車両寄贈は今回で4回目となり、寄贈累計台数は3県合わせて120台に達しています。

6月5日、ジョイス盛岡西バイパス店で、株式会社ベルジョイス小丸米秀樹代表取締役会長と社会福祉法人岩手県共同募金会長山洋会長による「あつたかいわてプロジェクト」の覚書調印式が、サントリーフーズ株式会社の久保隆史執行役員東北支社長の立

寄付つき飲料を 県内店舗で販売

株式会社ベルジョイス、サントリーフーズ株式会社

6月5日、ジョイス盛岡西バイパス店で、株式会社ベルジョイス小丸米秀樹代表取締役会長と社会福祉法人岩手県共同募金会長山洋会長による「あつたかいわてプロジェクト」の覚書調印式が、サントリーフーズ株式会社の久保隆史執行役員東北支社長の立

お詫びと訂正

いわて福祉だよりパートナー616号の記載に誤りがありましたので、訂正いたします。

■岩手県社会福祉協議会平成29年度事業計画 いわて“おげんき”みまもりシステム管理運営事業

<訂正内容（誤）>

研究会の開催／生活困窮者支援、地域包括ケア、多機関の協働による相談支援、地域福祉活動計画の策定などテーマ別研究会を定期的に行ない、市町村社協における円滑な事業展開を支援する。

<正>

システムを安定運用し、利用登録者数の増加を図るとともに、市町村社協の一人暮らし高齢者見守り状況調査を実施し、現状と課題及びシステム導入の意向を確認する。

■新任職員の紹介

<訂正内容>

ふれあいランド岩手館山直人専門員をふれあいランド岩手館山直斗専門員に訂正します。

皆様のご支援 ありがとうございました

東日本大震災・台風10号災害復興支援などのため、ご支援いただき、感謝申し上げます。

[5月16日～6月30日]

株式会社ブリッジ（1件）

61,353円

名郷根法育（1件）1,000円

名郷根和博（1件）1,000円

名郷根博明（1件）1,000円

（匿名希望）（3件）210,000円



「あつたかいわてプロジェクト～あわせ運ぶお買い物～」覚書調印式

てられます。

全国の共同募金会では企業等から寄付つき商品・企画を募集する赤い羽根共同募金「募金百貨店プロジェクト」を実施しています。

同プロジェクト（全国都道府県単位の企画として実施）は、企業等から寄付つき商品・企画を募集し、共同募金会・寄付者・多様な企業等が連携して「じぶんのまちを良くする」募金の百貨店を目指したもので、企業は販売促進と社会貢献につながり、それが地域の福祉課題を解決するための財源になります。

寄付者（顧客）に負担はなく、企

業は販売促進と社会貢献につながり、それが地域の福祉課題を解決す

るための財源になります。

寄付者（顧客）に負担はなく、企

業は販売促進と社会貢献につながり、それが地域の福祉課題を解決す

</